2019 年度実施概要

学校名

羅臼町立春松小学校

採択活動名

海に親しみ、海と人との関わりを学ぼう

取り組みの概要

本校は、世界自然遺産に登録された知床半島に立地し、海を含め豊かな自然に囲まれた環境のもと教育活動を展開した。特に総合的な学習の時間を中心として、豊かな自然、動植物、水産業、海を活用した観光など郷土の特性を学ぶ「知床学」と教科横断的な指導計画に基づき教育活動を行うことで、ふるさとに対しての誇りと愛着を育み，郷土の発展に役立つ社会人となるための資質・能力を育むことを目指し学習活動を実施した。

実施内容としては、１，２学年において「めざせいきものはかせ」と題して羅臼町郷土資料館周辺の前庭や裏山、前浜を活動場所として、実際に川に入って生き物を探したり、虫を捕まえたりするなどの活動を通して、自然の素晴らしさや生命の大切さを学ぶ活動を実施した。また、２年生は、国語科「さけがおおきくなるまで」と関連を図り、漁業関係者の協力を得て、サケの稚魚の放流体験をとおして豊かな海を持続する大切さについて学ぶ活動を実施した。

３、４年生は、地域のイベント「こんぶフェスタ」に参画し、イベント実行委員である地域の方々とともにイベントを PR するリーフレットを作成する活動を行った。また、イベント当日、３年生は羅臼町の基幹産業である「漁業の仕事」について調べる社会科の学習と関連付けながら実際に働いている人にインタビューするなど情報収集の方法について学ぶ活動を行ったり、４年生は、羅臼の魅力について話し合ったり、地域や観光客からアンケートを取り、それを整理分析する学習をとおして地域の魅力をユネスコスクール発表会で発信した。

５年生は、「ウトロから見た知床～知床を守る人々」と題して、斜里町ウトロの「知床自然センター」や「世界自然遺産センター」での見学を通して、「知床の自然価値を知り自分たちができること、すべきこと」を考え国語科の意見文を書く活動を行った。

６年生は、総合的な学習の時間等を通して、羅臼町の自然・文化、観光、水産業等「羅臼の魅力」についてこれまで学んできた「羅臼町の魅力」をもとに、さらにより良い

まちにするためにはどのようなことができるか考え、自分たちのアイディアを動画、パンフレット、調理という様々な手法で学びの成果をもとに他学年に提案した。

　このように、各学年において多様な他者と児童が様々な体験を通じた学習を展開し、ふるさと羅臼をより深く理解し、郷土に対する誇りや愛着を持ち、さらには未来の羅臼の発展に貢献したいという心を育むことを目指し教育活動を実施した。

実施単元名　※実施した単元の数に応じて記載してください

めざせいきものはかせ（１．２年：生活）
さけがおおきくなるまで（２年：国語）
発見！羅臼の自然（３年：総合的な学習の時間）
発見！羅臼のくらし（３年：総合的な学習の時間）
ユネスコスクール発表会（海洋教育成果発表会）（３、４年：総合的な学習の時間）
羅臼のいいとこ再発見（４年：総合的な学習の時間）
ふるさと探検隊（５年：総合的な学習の時間）
水産業のさかんな地域（５年：社会）
さけ学習（５年：総合的な学習の時間）
森林とともにいきる（５年：社会）
より良いまちに向け提案しよう（６年：総合的な学習の時間）